

学会発表

1. 高木友徳, 藤井祐亘, 岩本邦弘, 入谷修司, 尾崎紀夫: 統合失調症患者の妊娠/出産におけるリエゾン・コンサルテーション活動 一産科との連携における現状と課題一. 第7回日本統合失調症学会 2012
2. 関口裕孝, 松永慎史, 宮田雅美, 東城めぐみ, 羽瀨知可子, 鳥居洋太, 岩田仲生, 吉田眞理, 藤田潔, 入谷修司, 尾崎紀夫: 単科精神科病院における脳病理解剖のシステム構築報告. H24 年精神神経学会 2012
3. 長島渉, 木村宏之, 佐藤直弘, 伊藤幹子, 徳倉達也, 荒尾宗孝, 吉田契造, 栗田堅一, 尾崎紀夫: 口腔顔面領域における疼痛性障害に対する Duloxetine の効果. 日本臨床神経薬理学会: 口頭 栃木県宇都宮, 2012
4. 足立康則, 吉田契造, 尾崎紀夫: 自記式質問紙による職域におけるうつ病スクリーニングの妥当性検証. 日本うつ病学会 東京, 2012
5. 肥. 裕丈肥田裕丈, 毛利彰宏, 谷口将之, 鶴飼麻由, 尾崎紀夫, 山田清文, 鍋島俊隆, 野田幸裕: 新生仔期の免疫異常と若年期の精神異常発現薬による複合負荷は成体期における精神行動に影響する. 日本神経精神薬理学雑誌 32 (2):101-103, 2012
6. 尾崎紀夫: 「うつ病対策に関する関連学会共同宣言」の意図するところ. 日本外来精神医療学会 ランチョン 2012
7. 玉地亜衣, 國本正子, 久保田智香, 水野妙子, 後藤節子, 村瀬聡美, 金井篤子, 尾崎紀夫: 妊産婦の気分変動と血中ストレス関連物質との関連についての検討. 生物学的精神医学会: 口頭発表 神戸, 2012
8. 尾崎紀夫: 女性のこころと身体: 産後うつ病を中心に. 第70回日本心身医学会中部地方会 シンポジウム「心身医学と脳科学」 2012
9. 河野直子, 岩本邦弘, 江部和俊, 鈴木裕介, 長谷川潤, 梅垣宏行, 飯高哲也, 尾崎紀夫: 高齢ドライバーにおける記憶障害型MCIが運転技能に及ぼす影響. 第5回運転と認知機能研究会 東京, 2012
10. 江崎幸生, 北島剛司, 木村宏之, 浅野元志, 宮原研吾, 成田善弘, 尾崎紀夫, 岩田仲生: 境界性パーソナリティ障害の治療脱落における治療者の要因. H24 年精神神経学会 2012
11. 新井誠, 宮下光弘, 市川智恵, 豊田倫子, 前川素子, 大西哲生, 吉川武男, 有波忠雄, 久島周, 尾崎紀夫, 福本素由乙, 橋本亮太, 小池進介, 滝沢龍, 笠井清登, 渡邊琢夫, 山本博, 宮田敏男, 岡崎祐士, 糸川昌成: 統合失調症におけるカルボニルストレス代謝制御の分子基盤解明. 第7回日本統合失調症学会 名古屋, 2012
12. 岩本邦弘, 河野直子, 幸村州洋, 笹田和見, 山本真江里, 江部和俊, 野田幸裕, 尾崎紀夫: 低用量ミルタザピンが客観的・主観的鎮静に与える影響
13. Effects of low-dose mirtazapine on objective and subjective sedation in healthy volunteers. 臨床精神神経薬理学会 2012
14. 尾崎紀夫: 女性のこころと身体: 産後うつ病を中心に
15. . 第70回日本心身医学会中部地方会 シンポジウム「心身医学と脳科学」

2012

16. 尾崎紀夫: White matter abnormalities in schizophrenia: genetic, imaging and postmortem study. Neuro2012 名古屋, 2012

17. 尾崎紀夫: 境界性パーソナリティ障害の薬物療法と病態. うつ病学会シンポジウム: 境界性パーソナリティ障害(BPD)の診断・治療・病態 東京, 2012

18. 尾崎紀夫: 双極性障害について、知るべきこと、伝えるべきこと. うつ病学会ランチョン 東京, 2012

19. 尾崎紀夫: 統合失調症患者・家族のニーズを適える研究成果を目指して. 第7回日本統合失調症学会: 大会長講演 名古屋, 2012

20. 小野木千恵, 高崎悠登, 高木友徳, 入谷修司, 尾崎紀夫: 背景の複雑な認知症者の社会支援について-総合病院の精神保健福祉士の立場から-. 第25回日本総合病院精神医学会 大田区産業プラザ (PiO), 2012

21. 小野木千恵, 丸井友泰, 高木友徳, 入谷修司, 尾崎紀夫: 病診・病病連携により紹介受診する精神科患者のアルコール関連問題. 第32回日本精神科診断学会 沖縄県, 2012

22. 小林玄洋, 藤井祐亙, 高木友徳, 小野木千恵, 入谷修司, 西岡和郎, 尾崎紀夫: 食道癌術後精神科病床に医療保護入院となった統合失調症の一例. 総合病院精神医学会 2012

23. 宮田聖子, 野田朋子, 本多久美子, 岩本邦弘, 尾崎紀夫: 加速度センサー内蔵歩数計による睡眠・覚醒リズム評価の検討. 日本睡眠学会第37回定期学術集会 パシ

フィコ横浜, 2012

24. 宮内倫也, 木村宏之, 杉山由佳, 佐藤直弘, 尾崎紀夫: 身体疾患に併存するうつ病の薬物療法例. 総合病院精神医学会 2012

25. 久保田智香, 小出隆義, 尾崎紀夫: エジンバラ産後うつ病自己評価票における因子構造の検討: 不安因子に着目して. 不安障害学会 2012

26. N. Ozaki: Myelin-related abnormality of schizophrenia: genetic, imaging and postmortem study. the 15th Pacific Rim College of Psychiatrists Scientific Meeting (PRCP 2012) Symposium Genetics of Schizophrenia Seoul, Korea, 2012

27. S. Miyata, A. Noda, M. Ito, K. Iwamoto, N. Ozaki: Chronic sleep restriction inhibits brain activity measured by near-infrared spectroscopy. 20th European Congress of Psychiatry Prague, Czech, 2012

28. I. Kushima: Definition and refinement of the VIPR2 duplication region associated with schizophrenia. WCPG 2012 Hamburg, Germany 2012

29. M. Banno, T. Koide, B. Aleksic, T. Okada, T. Kikuchi, K. Kohmura, Y. Adachi, N. Kawano, T. Iidaka, N. Ozaki: Wisconsin card sorting test scores and clinical and sociodemographic correlates in schizophrenia: Multiple logistic regression analysis. 11th World Congress of Biological Psychiatry 2012

30. A. Yoshimi, N. Takahashi, B. Aleksic, I. Kushima, M. Ikeda, H. Ujike,

T.Sakurai, J. D. Buxbaum, J. Sap, N. Iwata, N. Ozaki: Schizophrenia associated polymorphism regulates PTPRA transcript expression in lymphoblastoid cell lines. WCPG 2012 Hamburg, Germany, 2012

知的財産権の出願・登録状況
なし

厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業[精神障害分野]）

分担研究報告書

一般身体診療科におけるうつ病の早期発見と治療への導入に関する研究

分担研究者

山田光彦、稲垣正俊、米本直裕

独立行政法人国立精神・神経医療研究センター

研究協力者

大槻露華 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター、

長健 長外科胃腸科医院、

及川雄悦 国民健康保険まごころ病院

研究要旨 うつ病患者の同定と適切な治療への導入を目指し、地域のかかりつけ病院として機能している、精神科を有しない総合病院の内科の外来患者において、うつ病重症度の自然経過、についての検討を行った。同場面におけるうつ病の自然経過を観察すると、ベースライン調査において大うつ病エピソードの診断のついた患者 21 名の内、3 ヶ月後の PHQ-9 スコアによる重症度の分類が「なし/軽症相当」であったのは 6 名、6 ヶ月後では 7 名であった。ベースライン調査において大うつ病エピソードのなかった患者 83 名の内、3 ヶ月後、6 ヶ月後の調査で 1 度でも PHQ-9 スコアが重症以上となった患者は 4 名であった。

また、臨床実践として、6 ヶ月に一度全患者に対してうつ病スクリーニングを実施し、うつ病陽性患者に対して 6 ヶ月間にわたり看護師主導のケースマネジメントを実施している医療機関の取り組みを観察した結果、うつ病スクリーニングは殆どの患者に実施することが可能で、うつ病スクリーニング陽性と判断された患者に対するケースマネジメントも多くの例で実施可能であった。

これらの結果、及びこれまでの結果から、かかりつけ病院において、うつ病スクリーニングを実施し、うつ病陽性と判断された患者に対して看護師主導のケースマネジメントが実施可能であることが示された。

A. 研究目的

うつ病はわが国においても大きな問題となっている。

うつ病に対する支援を考慮する上で、克

服すべき問題として、A) うつ病患者の同定と適切な治療への導入、B) 適切な治療の均てん化、C) 難治性うつ病に対する治療法の開発等が挙げられる。

これらの背景を受け、本分担研究において、かかりつけ機能を有し、精神科の標榜のない総合病院の内科外来における、1) うつ病有病率、2) うつ病スクリーニングツールの性能の検討、3) うつ病重症度および自然経過の観察、を示した。

今年度は、3) の 18 ヶ月後予後と、4) うつ病スクリーニングおよび適切な治療導入実施の可能性の検討を行った。

B. 研究方法

連続する 9 日間、地方郡部の精神科を併設しない一般病院内科外来を受診する全患者に対して層別サンプリングを行った。無作為に抽出した患者と、Patient Health Questionnaire-9 (PHQ-9) うつ病スクリーニングによりうつ病陽性となった患者の合計 104 名に対して、精神科医が構造化診断面接 M.I.N.I.を実施した。

うつ病重症度および自然経過の観察は、M.I.N.I.のデータが得られた対象者を 3 ヶ月、6 ヶ月、18 ヶ月後まで縦断的に PHQ-9 スコアの変化を観察し自然経過に関する情報を得た。

うつ病スクリーニングおよび適切な治療導入実施の可能性の検討については、平成 22 年より、6 ヶ月毎に 1 ヶ月間に来院した全外来患者に対して PHQ-9 うつ病スクリーニングを実施し、陽性患者に対して看護師が定期的なモニタリングを実施している医院の活動を観察し、かかりつけ機能を有する身体科診療科においてうつ病スクリーニング及び適切な治療導入実践の可能性と問題点について調査した。

(倫理面への配慮)

自然経過に関する調査研究は国立精神・神経医療研究センターの倫理審査委員会により審査され承認された後に実施した。また、参加者に研究の内容を説明し、参加の同意を得た後に実施した。調査 4) は、該当地区の医師会の倫理委員会により審査され、承認された後に実施した。患者個人の情報は収集せず集計情報のみ医院から提供を受け、検討を行った。

C. 研究結果

うつ病重症度および自然経過の観察：

ベースライン調査において M.I.N.I.の診断が得られ、PHQ-9 のスコアの情報が得られた 104 名をコホートとして、その後の PHQ-9 スコアの変化を観察した。

ベースライン調査において大うつ病エピソードの診断のついた患者 21 名の内、3 ヶ月後の PHQ-9 スコアによる重症度の分類が「なし/軽症相当」であったのは 6 名、6 ヶ月後では 7 名、18 ヶ月後では 8 名であった。

ベースライン調査において大うつ病エピソードのなかった患者 83 名の内、3 ヶ月、6 ヶ月、18 ヶ月の調査で 1 度でも PHQ-9 スコアが重症以上となった患者は 4 名であった。

うつ病スクリーニングおよび適切な治療導入実施の可能性の検討：

平成 22 年 10 月の 1 ヶ月間、看護師主導で、20 歳以上の外来受診患者を対象に PHQ-9 (カットオフ値 10 点以上) によるうつ病スクリーニングを予備的に実施し、院内での役割等を確認した上で、平成 23 年 4 月の 1 ヶ月間にも同様にうつ病スクリ

ーニングが実施された。291名を対象にスクリーニングが行われ、14名がうつ病スクリーニング陽性と判断された。平成23年10月の1ヶ月間にも同様にうつ病スクリーニングが実施され、276名に対してPHQ-9が行われ、10名が新たにうつ病陽性と判断された。この1ヶ月間の276名中196名は、前回の平成23年4月の1ヶ月間にもうつ病スクリーニングを受けていた。

うつ病スクリーニング陽性と判断された患者に対して、看護師がPHQ-9によるうつ病重症度、服薬状況、生活状況のモニタリングを6ヶ月間実施することとなっていたが、5名を除き、6ヶ月以上モニタリングが実施可能であった。

D. 考察

これまでの本分担研究から、かかりつけ機能を有する総合病院内科外来において、うつ病は稀ではないこと、そのうつ病を発見するスクリーニングツールが既に開発されていることを示してきたが、更に、そのツールをどの位の頻度で使用するべきか、スクリーニングツールによりうつ病陽性とされた患者にどのように対応することが可能かという情報が得られた。

E. 結論

- 1) うつ病スクリーニングは定期的を実施する必要が有ること、うつ病陽性とされた患者は長期的にモニタリングする必要が有ることが示された。
- 2) さらに、かかりつけ機能を有する身体科において、上記のわが国の知見に沿った、定期的なうつ病スクリーニングと、陽性患者の長期的モニタリングが可能であること

が確認された。

F. 健康危険情報

特記すべきことなし。

G. 研究発表

1. Inagaki M, Ohtsuki T, Yonemoto N, Oikawa Y, Kurosawa M, Muramatsu K, Furukawa TA, Yamada M. Prevalence of depression among outpatients visiting a general internal medicine polyclinic in rural Japan. *General Hospital Psychiatry*. in press.
2. Ohtsuki T, Kodaka M, Sakai R, Ishikura F, Watanabe Y, Mann A, Haddad M, Yamada M, Inagaki M. Attitudes toward depression among Japanese non-psychiatric medical doctors: a cross-sectional study. *BMC Res Notes*. 2012 Aug 16;5:441.
3. Kodaka M, Inagaki M, Postuvan V, Yamada M. Exploration of factors associated with social worker attitudes toward suicide. *Int J Soc Psychiatry*. 2012 Apr 9. [Epub ahead of print]

H. 知的所有権の出願・取得状況（予定を含む。）

なし。

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍（日本語）

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
下寺 信次	第 8 章 精神医療と福祉および関連機関との間における連携の重要性 第 1 節 治療の導入に向けた支援 第 2 節 再発予防のための支援	編集：日本精神保健福祉士養成校協会	新・精神保健福祉士養成講座 1 精神疾患とその治療	中央法規	東京	2012	302-312
下寺 信次	23 その他の臨床的諸問題_病名告知	編集：樋口輝彦	今日の精神疾患治療指針	医学書院	東京	2012	954-956
下寺 信次	統合失調症（維持療法とリハビリテーション）	総編集：山口徹 北原光夫 福井次矢	今日の治療指針 2013 年度版	医学書院	東京	2013	875-876
久保田智香, 森川真子, 尾崎紀夫	婦人科におけるうつ病診察のコツと処方例.	樋口 輝彦, 中尾 睦宏, 伊藤 弘人	日常診察におけるうつ病治療指針～うつ病を見逃さない～	医薬ジャーナル社	東京	2012	149-167
渡辺範雄	うつ病の経過と不眠	井上雄一, 岡島義	不眠の科学	朝倉書店	東京	2012	135-142
渡辺範雄	うつ病治療におけるミルタザピンの選択基準—EBM の観点から—	小山司, 樋口輝彦	ミルタザピンのすべて	先端医学社	東京	2012	60-68
明智龍男	緩和ケアと抑うつがん患者の抑うつの評価と治療	「精神科治療学」編集委員会	気分障害の治療ガイドライン	星和書店	東京	2012	258-262
明智龍男	がん患者の心のケア・サイコオンコロジーの役割	NHK ラジオあさいちばん	NHK ラジオあさいちばん	NHK サービスセンター	東京	2012	100-110

明智龍男	緩和ケアに関する学会などについての情報・日本サイコオンコロジー学会、日本総合病院精神医学会	日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団	ホスピス緩和ケア白書 2012	日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団	東京	2012	71-73
明智龍男	がん患者の自殺、希死念慮	内富庸介、小川朝生	精神腫瘍学クリニックエッセンス	創造出版	東京	2012	75-87
明智龍男	精神療法	内富庸介、小川朝生	精神腫瘍学クリニックエッセンス	創造出版	東京	2012	167-184
堀越勝・野村俊明	精神療法の基本 支持から認知行動療法まで	堀越勝・野村俊明	精神療法の基本 支持から認知行動療法まで	医学書院	東京	2012	1-276
堀越勝	認知行動療法	窪内節子	やさしく学べる心理療法の実践	培風館	東京	2012	169-186
堀越勝	強迫性障害の家族療法	斎藤万比古・金生由紀子	子どもの強迫性障害 診断・治療ガイドライン	星和書店	東京	2012	197-210

雑誌（外国語）

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
<u>Akechi T, Morita T, et al.</u>	Dignity therapy: Preliminary cross-cultural findings regarding implementation among Japanese advanced cancer patients	Palliat Med	26	768-769	2012
<u>Akechi T, et al.</u>	Clinical Indicators of Depression among Ambulatory Cancer Patients Undergoing Chemotherapy	Jpn J Clin Oncol	42	1175-1180	2012
<u>Akechi T, et al.</u>	Perceived needs, psychological distress and quality of life of elderly cancer patients	Jpn J Clin Oncol	42	704-710	2012

<u>Akechi T</u> , et al.	Good death in elderly adults with cancer in Japan based on perspectives of the general population	J Am Geriatr Soc	60	271-276	2012
<u>Akechi T</u> .	Psychotherapy for depression among patients with advanced cancer	Jpn J Clin Oncol	42	1113-1119	2012
An SK, Chan SK, Chang WC, Chen EY, Chong SA, Chung YC, Hui CL, Hwu HG, Iwata N, Irmansyah I, Jang JH, Kwon JS, Lee JC, Lee HM, Lee EH, Li T, Liu Z, Ma X, Mangala R, Marchira C, Matsumoto K, Mizuno M, <u>Shimodera S</u> , Subandi MA, Suzuki M, Tay SA, Thara R, Verma SK, Wong GH	Early psychosis declaration for Asia by the Asian network of early psychosis	East Asian Arch Psychiatry			in press
Ando M, <u>Morita T</u> , <u>Akechi T</u> , et al.	Factors in narratives to questions in the short-term life review interviews of terminally ill cancer patients and utility of the questions	Palliat Support Care	Feb 24:	1-8	2012
Ando S, Yamasaki S, <u>Shimodera S</u> , Sasaki T, Oshima N, <u>Furukawa TA</u> , Asukai N, Kasai K, Mino Y, Inoue S, Okazaki Y, Nishida A	A greater number of somatic pain sites is associated with poor mental health in adolescents: a cross-sectional study	BMC Psychiatry			in press

Asai M, <u>Akechi T</u> , <u>Uchitomi Y</u> , et al.	Impaired mental health among the bereaved spouses of cancer patients	Psychooncology	May 2	online	2012
Cipriani A, Koesters M, <u>Furukawa TA</u> , Nose M, Purgato M, Omori IM, Trespidi C & Barbui C	Duloxetine versus other anti-depressive agents for depression	Cochrane Database of Systematic Reviews	10	CD006533	2012
Cipriani A, Purgato M, <u>Furukawa TA</u> , Trespidi C, Imperadore G, Signoretti A, Churchill R, <u>Watanabe N</u> , Barbui C.	Citalopram versus other anti-depressive agents for depression.	Cochrane Database Syst Rev.	7	CD006534	2012
<u>Furukawa TA</u> , <u>Horikoshi M</u> , Kawakami N, Kadota M, Sasaki M, Sekiya Y, Hosogoshi H, Kashimura M, Asano K, Terashima H, Iwasa K, Nagasaku M & Grothaus LC	Telephone cognitive-behavioral therapy for subthreshold depression and presenteeism in workplace: a randomized controlled trial	PLoS ONE	7	e35330	2012
<u>Furukawa TA</u> , Nakano Y, Funayama T, Ogawa S, Ietsugu T, Noda Y, Chen J, <u>Watanabe N</u> , <u>Akechi T</u> .	CBT modifies the naturalistic course of social anxiety disorder: Findings from an ABA design study in the routine clinical practices	Pschiatry and Clinical Neuroscience			in press
<u>Furukawa TA</u> , <u>Watanabe N</u> , Kinoshita Y, Kinoshita K, Sasaki T, Nishida A,	Public speaking fears and their correlates among 17,615 Japanese adolescents	Asia-Pac Psychiatry			in press

Okazaki Y, <u>Shimodera S</u>					
Furumura K, Koide T, Okada T, Murase S, Aleksic B, Hayakawa N, Shiino T, Nakamura Y, Tamaji A, Ishikawa N, Ohoka H, Usui H, Banno N, Morita T, Goto S, Kanai A, Masuda T, <u>Ozaki N</u>	Prospective Study on the Association between Harm Avoidance and Postpartum Depressive State in a Maternal Cohort of Japanese Women.	PLoS One	7 (4)	e34725	2012
Guyatt GH, Thorlund K, Oxman AD, Walter SD, Patrick D, <u>Furukawa TA</u> , Johnston BC, Karanickolas P, Akl EA, Vist G, Kunz R, Brozek J, Kupper LL, Martin SL, Meerpohl JJ, Alonso-Coello P, Christensen R & Schunemann HJ	GRADE guidelines: 13. Preparing Summary of Findings tables and evidence profiles-continuous outcomes	Journal of Clinical Epidemiology	66	173-183	2013
Hayakawa N, Koide T, Okada T, Murase S, Aleksic B, Furumura K, Shiino T, Nakamura Y, Tamaji A, Ishikawa N, Ohoka H, Usui H, Banno N, Morita T, Goto S, Kanai A, Masuda T, <u>Ozaki N</u>	The postpartum depressive state in relation to perceived rearing: a prospective cohort study.	PLoS One	7 (11)	e50220	2012
Hirai K, <u>Akechi T</u> , et al.	Problem-Solving Therapy for Psychological Distress in	Jpn J Clin Oncol	42	1168-1174	2012

	Japanese Early-stage Breast Cancer Patients				
Honda M, Kuriyama A, Noma H, Nunobe S & <u>Furukawa TA</u>	Hand-Sewn Versus Mechanical Esophagogastric Anastomosis After Esophagectomy: A Systematic Review and Meta-Analysis	Annals of Surgery	257	238-248	2013
Ikeda M, Aleksic B, Yamada K, Iwayama-Shigeno Y, Matsuo K, Numata S, Watanabe Y, Ohnuma T, Kaneko T, Fukuo Y, Okochi T, Toyota T, Hattori E, <u>Shimodera S</u> , Itakura M, Nunokawa A, Shibata N, Tanaka H, Yoneda H, Arai H, Someya T, Ohmori T, Yoshikawa T, Ozaki N, Iwata N	Genetic evidence for association between NOTCH4 and schizophrenia supported by a GWAS follow-up study in a Japanese population	Mol Psychiatr	1-2	1-8	2012
Inagaki M, Ohtsuki T, <u>Yonemoto N</u> , Oikawa Y, Kurosawa M, Muramatsu K, <u>Furukawa TA</u> , <u>Yamada M</u> .	Prevalence of depression among outpatients visiting a general internal medicine polyclinic in rural Japan	General Hospital Psychiatry			2013 [Epub ahead of print]
Johnston BC, Thorlund K, da Costa BR, <u>Furukawa TA</u> & Guyatt GH	New methods can extend the use of minimal important difference units in meta-analyses of continuous outcome measures	Journal of Clinical Epidemiology	65	817-826	2012
Kawaguchi A, <u>Akechi T</u> , et al.	A case of schizophrenia accompanied with lissencephaly	The Journal of Neuropsychiatry and Clinical			In press

		Neurosciences			
Kinoshita K, Kinoshita Y, <u>Shimodera S</u> , Nishida A, Inoue K, <u>Watanabe N</u> , Oshima N, <u>Akechi T</u> , Sasaki T, Inoue S, <u>Furukawa TA</u> , Okazaki Y	Not only body weight perception but also body mass index is relevant to suicidal ideation and self-harming behavior in Japanese adolescents	J Nerv Ment Dis	200(4)	305-309	2012
Kinoshita M, Numata S, Tajima A, Ohi K, Hashimoto R, <u>Shimodera S</u> , Imoto I, Itakura M, Takeda M, Ohmori T	Meta-analysis of association studies between DISC1 missense variants and schizophrenia in the Japanese population	Schizophr Res	141	271-273	2012
Kinoshita M, Numata S, Tajima A, <u>Shimodera S</u> , Ono S, Imamura A, Iga J, Watanabe S, Kikuchi K, Kubo H, Nakataki M, Sumitani S, Imoto I, Okazaki Y, Ohmori T	DNA methylation signatures of peripheral leukocytes in schizophrenia	Neuromol Med		doi 10.1007/s12017-012-8198-6	2012
Kodaka M, Inagaki M, Postuvan V, <u>Yamada M</u> .	Exploration of factors associated with social worker attitudes toward suicide	Int J Soc Psychiatry			2012 [Epub ahead of print]
Kubo T, Sato T, Noguchi T, Kitaoka H, Yamasaki F, Kamimura N, <u>Shimodera S</u> , Iiyama T, Kumagai	Influences of donepezil on cardiovascular system – possible therapeutic benefits for heart failure – Donepezil Cardiac TEst Registry(DOCTER) Study	J Cardiovasc Pharmacol	60(3)	310-314	2012

N, Kakinuma Y, Diedrich A, Jordan J, Robertson D, Doi YL					
Lihong Q, <u>Shimodera S</u> , Fujita H, Morokuma I, Nishida A, Kamimura N, Mizuno M, <u>Furukawa TA</u> , Inoue S	Duration of untreated psychosis in a rural/suburban region of Japan	Early Interv Psychiatry	6	239-24 6	2012
Nakaaki S, Sato J, Torii K, Oka M, Negi A, Nakamae T, Narumoto J, Miyata J, <u>Furukawa TA</u> & Mimura M	Diffusion white matter integrity before the onset of delusions in patients with Alzheimer's disease: Diffusion tensor imaging	Neuropsychiatric Disease and Treatment	9	25-29	2013
Nakaaki S, Sato J, Torii K, Oka M, Negi A, Nakamae T, Narumoto J, Miyata J, <u>Furukawa TA</u> & Mimura M	Neuroanatomical abnormalities before the onset of delusions in patients with Alzheimer's disease: A voxel-based morphometry study	Neuropsychiatric Disease and Treatment	9	1-8	2013
Nakaguchi T, <u>Okuyama T</u> , <u>Akechi</u> <u>T</u> , et al.	Oncology nurses' recognition of supportive care needs and symptoms of their cancer patients undergoing chemotherapy	Jpn J Clin Oncol			In press
Ohtsuki T, Kodaka M, Sakai R, Ishikura F, Watanabe Y, Mann A, Haddad M, <u>Yamada M</u> , Inagaki M.	Attitudes toward depression among Japanese non-psychiatric medical doctors: a cross-sectional study	BMC Res Notes	5	441	2012
Oshima N, Nishida A, <u>Shimodera S</u> , Tochigi M, Ando S,	The suicidal feelings, self-injury, and mobile phone use after lights out in adolescents	J Pediatr Psychol	37(9)	1023-1 030	2012

Yamasaki S, Okazaki Y, Sasaki T					
Sato J, Nakaaki S, Torii K, Oka M, Negi A, Tatsumi H, Narumoto J, <u>Furukawa TA</u> & Mimura M	Behavior management approach for agitated behavior in Japanese patients with dementia: A pilot study	Neuropsychiatric Disease and Treatment	9	9-14	2013
Shimizu K, <u>Akechi</u> <u>T</u> , <u>Uchitomi Y</u> , et al.	Clinical biopsychosocial risk factors for depression in lung cancer patients: a comprehensive analysis using data from the Lung Cancer Database Project	Ann Oncol	23	1973-1 979	2012
<u>Shimodera S</u> , <u>Furukawa TA</u> , Mino Y, Shimazu K, Nishida A, Inoue S	Cost-effectiveness of family psychoeducation to prevent relapse in major depression: results from a randomized controlled trial	BMC Psychiatry	12(40)	1-6	2012
<u>Shimodera S</u> , Imai Y, Kamimura N, Morokuma I, Fujita H, Inoue S, <u>Furukawa TA</u>	Near-infrared spectroscopy(NIRS) of bipolar disorder may be distinct from that of unipolar depression and of healthy controls	Asia-Pac Psychiatry			in press
<u>Shimodera S</u> , Imai Y, Kamimura N, Morokuma I, Fujita H, Inoue S, <u>Furukawa TA</u>	Mapping hypofrontality during letter fluency task in schizophrenia; a multi-channel near-infrared spectroscopy study	Schizophr Res	136	63-69	2012
<u>Shimodera S</u> , Kato T, Sato H, Miki K, Shinagawa Y, Kondo M, Fujita H, Morokuma I, Ikeda Y, <u>Akechi T</u> , <u>Watanabe N</u> , <u>Yamada M</u> , Inagaki M, <u>Yonemoto N</u> ,	The first 100 patients in the SUN-D trial(strategic use of new generation antidepressants for depression); examination of feasibility and adherence during the pilot phase	Trials	13(80)	1-11	2012

<u>Furukawa TA</u>					
<u>Shimodera S,</u> Kawamura A, <u>Furukawa TA</u>	Physical pain associated with depression; results of a survey in Japanese patients and physicians	Compr Psychiat	53	843-849	2012
<u>Shimodera S,</u> Yonekura Y, Yamaguchi S, Kawamura A, Mizuno M, Inoue S, <u>Furukawa TA,</u> Mino Y	Bipolar I disorder and expressed emotion of families; a cohort study in Japan	OJPsych	2	258-261	2012
Tochigi M, Nishida A, <u>Shimodera S,</u> Okazaki Y, Sasaki T	Season of birth effect on psychotic-like experiences in Japanese adolescents	Eur Child Adolesc Psychiatry			2012 Epub ahead of print
Tochigi M, Nishida A, <u>Shimodera S,</u> Oshima N, Inoue K, Okazaki Y, Sasaki T	Irregular bedtime and nocturnal cellular phone usage as risk factors for being involved in bullying; a cross-sectional survey of Japanese adolescents	PLoS ONE	7(9)	1-6	2012
Tsuchiya M, Kawakami N, Ono Y, Nakane Y, Nakamura Y, Fukao A, Tachimori H, Iwata N, Uda H, Nakane H, Watanabe M, Oorui M, Naganuma Y, <u>Furukawa TA,</u> Kobayashi M, Ahiko T, Takeshima T & Kikkawa T	Impact of mental disorders on work performance in a community sample of workers in Japan: the World Mental Health Japan Survey 2002-2005	Psychiatry Research	198	140-145	2012

<u>Watanabe N & Nishida A, Shimodera S, Inoue K, Oshima N, Sasaki T, Inoue S, Akechi T, Furukawa TA, Okazaki Y</u>	Deliberate self-harm in adolescents aged 12 - 18: a cross-sectional survey of 18,104 students	Suicide Life Threat Behav	42(5)	550-560	2012
<u>Watanabe N, Nishida A, Shimodera S, Inoue K, Oshima N, Sasaki T, Inoue S, Akechi T, Furukawa TA, Okazaki Y.</u>	Help-seeking behavior among Japanese school students who self-harm: results from a self-report survey of 18,104 adolescents.	Neuropsychiatr Dis Treat.	8	561-569	2012
<u>Yamada A, Kato M, Suzuki M, Watanabe N, Akechi T, Furukawa TA.</u>	Quality of life of parents raising children with pervasive developmental disorders	BMC Psychiatry	12	119	2012
<u>Yamauchi T, Fujita T, Tachimori H, Takeshima T, Inagaki M, Sudo A.</u>	Age-adjusted relative suicide risk by marital and employment status over the past 25 years in Japan	J Pub Health			2012 [Epub ahead of print]

雑誌（日本語）

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
<u>下寺信次, 井上新平, 藤田博一, 須賀楓介</u>	アーリーサイコーシス外来における早期介入	精神神経学雑誌			印刷中
<u>下寺信次, 井上新平, 藤田博一, 須賀楓介</u>	我が国における統合失調症早期介入の現状	第108回日本精神神経学会学術総会特集号（電子版）			印刷中
<u>久保田智香, 岩本邦弘, 尾崎紀夫</u>	妊娠期における双極性障害の薬物療法.	BIRTH	1(5)	42-51	2012
<u>古川壽亮</u>	臨床研究＝デザイン×測定×統計解析	日本神経精神薬理学雑誌	32	139-141	2012

古川壽亮	大うつ病の薬物療法のエビデンス アップデート：無効、増量、自殺 性	日本精神科病院協 会雑誌	31	320-32 3	2012
古川壽亮	市販後臨床試験、医師主導型臨床 試験、そして比較効果研究	実験医学	30	2189-2 192	2012
山内貴史、竹島正、稲 垣正俊	1998 年以降のわが国における自 殺死亡の季節変動	公衆衛生	76	574	2012
杉浦彰子、 <u>渡辺範雄</u> 、 他	通常外来診療で行動活性化と認知 再構成を行い、症状改善に至った 慢性うつ病の症例	認知療法研究	4(2)	126-12 7	2011
中村由嘉子、國本正 子、 <u>尾崎紀夫</u>	妊産婦に生じるうつ病を対象とし たゲノムホート研究.	日本生物学的精神 医学会誌	23 (3)	205-21 0	2012
<u>渡辺範雄</u>	うつ病不眠の診療と指導の実際	メディカルプラク ティス	28(10)	1801-1 805	2011
藤田博一、 <u>下寺信次</u>	認知・行動療法と家族療法の併用 と治療効果	臨床精神医学	41(8)	1017-1 022	2012
白石直、 <u>渡辺範雄</u>	うつ病不眠に対する行動療法と日 常診療への応用	精神科治療学	27(8)	1035-1 040	2012
<u>明智龍男</u>	メメント・モリ	精神医学	54	232-23 3	2012
<u>明智龍男</u>	がん終末期の精神症状のケア	コンセンサス癌治 療	10	206-20 9	2012
<u>堀越勝</u>	認知行動療法セラピストの資格 制度にむけて	精神療法	38	24-30	2012
<u>堀越勝</u>	強迫性障害の認知行動療法と国 際連携	医学のあゆみ	242	6-7	2012
<u>堀越勝</u> 高岸百合子 <u>檜村正美</u>	認知処理療法 (CPT) :心的外傷 後ストレス障害の治療法	カレントセラピ ー	30	20	2012

III. 資料